

▼10月1日、市民体育館で南国市演芸大会が行われました。市内の各文化サークルで練習している人たちが日ごろの練習の成果を披露。今年は長岡東部子ども会からの参加もあり、会場を盛り上げました。



10月7日、保健福祉センターで健康づくり講演会が開催されました。講師に女優の小林千登勢さんを迎え、家族のあり方を「しあわせは家族みんなの健康から」と題して講演。会場には400人を超えるお客さんが詰めかけ、小林さんの楽しい話に聞き入っていました。

この日会場では、骨密度の測定をし、食生活のアドバイスをしてくれる骨粗しょう症コーナー、体脂肪測定のコナーなどのほか、南国益裁長も同時開催。訪れたお客さんは健康に対する認識を深めたのではないのでしょうか。



▲体育の日の10月10日、十市の石土池周辺を会場に健康ウォーキング大会が開催されました。参加した77チーム約300人は、5つのチェックポイントでクイズや輪投げなどのゲームを楽しみながら、秋晴れの空の下、約5kmをそれぞれのペースで歩きました。



▲9月30日、市民体育館を会場に南国市老人体育大会が行われました。市内各地の老人クラブなどから約600人が参加。8チームに分かれて、ゲートボールのスティックでソフトボールを目標に向けて転がす「ゲートボール」や「はし拳闘所破り」など趣向を凝らしたゲームにチャレンジ。選手も応援も一丸となって、熱戦を展開しました。

第7回 南国市健康づくり講演会



▼10月11日、地域安全パレードが行われました。この日パレードをした一日警察署長のガルシア・デル・ナス・エバさん（高知医科大学非常勤講師・スペイン）とモンロイ・シルバルトマキンさん（高知大農学部大学院生・フィリピン）、地域安全推進員ら約100人は後免町商店街を中心に安全で住みよい地域社会の実現を訴えました。



▶南国バイパス大塚交差点での立看板を使った一斉街頭指導(21日)

▼駕ヶ池グラウンドで行われた交通安全クイズ。このあと交通安全ゲートボール大会が開催されました。(25日)



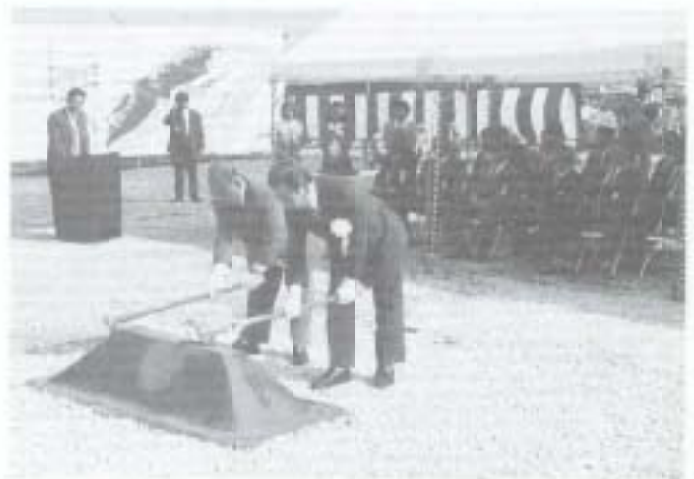
▲秋の交通安全運動がスタートした9月21日、南国バイパス大塚交差点で、総勢500人ほどによる一斉街頭指導が行われました。立看板を使ったこの活動には、一日南国警察署長に委嘱された山本関さん・美



恵さん(久枝)の金婚夫婦も参加、交通安全を呼びかけました。また、その他にも運動期間中、街頭でのドライバーへの啓発活動や高齢者交通安全クイズ、ゲートボール大会などが行われました。

▶9月26日、浜改田地区に計画されていた物流業務団地の起工式が現地で行われました。同団地は高知空港・高知新港・高速道路に近接しているという利点を生かし、高知県のみならず四国の物流の玄関口にと異が計画していたもの。

開発面積は29.1ha(うち分譲面積18ha)で、第1期分譲は平成10年3月の予定。県内外の企業が集まる、物流拠点ができあがります。



▲市民訪問団が市役所を表敬訪問。花束を受け取る大内岩沼市姉妹都市親善協会会長。

9月27日、姉妹都市の宮城県岩沼市から市民訪問団40人が来高。市役所を表敬訪問したあと、西島園芸団地、歴史民俗

資料館などを見学。

夜行われた歓迎会では、すぐに和気あいあいの和やかな雰囲気。カラオケなども使ったの楽しい交流となりました。

一行は翌日、桂浜と高知城を見学して高知を後にしました。



▶歓迎会では十市の牛踊りを披露。にぎやかな雰囲気の中で交流しました。